



まっがし

第131号
令和7年10月29日発行

議会だより



防災フェスティバルの様子



オーストリアとの国際交流解団式



東京2025デフリンピックPRカー

9月定例会

〈主な内容〉

- 令和6年度決算・議案の採決 2～5P
- 議案審議・補正予算 6～7P
- 意見書・委員会報告 8～9P
- 7人の議員が町政を問う 10～13P

議会だよりが
スマートフォンでも
読めます



表紙の写真
大募集!

詳細は裏表紙or
QRコードから



この広報紙は
UDフォントを
使用しています

UD FONT

みんなの笑顔を未来へつなぐ

令和6年度を始期とする「第6次総合振興計画」の7つのまちづくりの主要施策を実施しました。
令和6年度決算は、歳入総額108億5,490万円、歳出総額101億4,005万円、歳入歳出差引残高7億1,485万円、実質収支額は6億4,765万円となりました。活発な質疑が行われ認定しました。

1. 子育て・教育

- こども医療費給付費（18歳まで拡大） 1億535万712円
- （小中学校）防犯カメラ更新工事費 1,093万2,900円
- 保育所運営事業 1億2,216万6,672円

問 こども家庭センターの成果は。

答 こども家庭センターは妊娠期から家庭をサポートし、児童虐待や孤立などを防止することを目的としている。令和6年度の相談件数は98家庭で延べ180件。対前年度比で25家庭の増。訪問件数は延べ104件。対前年度比37件の増となっている。

問 スペシャルサポートルームの成果は。

答 令和6年度は、松伏小学校において試験的に運用した。利用した児童数は26名。成果は、長期欠席児童の減少。



小中学校屋外防犯カメラの設置

問 病後児保育事業の検討は。

第一保育所で実施できないか。

答 過去1年間に子どもが病気やケガで保育園などを休んだことがある人を対象に利用希望を聞いたところ「出来れば利用したい」が45.9%で半数近くを占めていたが、「利用したいと思わない」も54.1%いた。今後、先進事例を比較検討していく。

2. 健康・福祉・社会保障

- 高齢者タクシー・バス券事業 1,025万5,500円
- 後期高齢者医療健康診査等委託料 785万8,804円
- 保健センター設計業務委託料 3,718万円

問 高齢者タクシー・バス券事業の申請率。結果の分析は。

答 松伏地区は約52%、ゆめみ野地区58%、田中地区52%。申請が低い地域は大川戸地区32%、下赤岩地区30%、築比地地区36%、魚沼地区14%。タクシーの2,000円券は令和6年度開始のため、引き続き検証を行う。

問 後期高齢者に対して、個別健診を追加した成果を問う。

答 個別健診の受信者数249人、集団は751人。令和5年度の受診者数は932人なので、受診者・受診率ともに若干の向上が図られた。

問 保健センター設計業務委託料の内容と成果を問う。

答 建設予定地で実施した地盤のボーリング調査報告書の作成。建築・電気設備・機械設備の詳細設計図の作成。バリアフリーに関する協議や省エネ関係の申請など。



高齢者タクシー・バス券



基礎工事中の保健センター
令和9年4月開所予定

緑あふれるまち まつぶし

令和6年度 一般会計歳出合計

101億4,004万8,212円

令和6年度
**決算
認定**

3. 人権・地域コミュニティ・スポーツ・芸術・文化

- 広報紙等配布委託料 348万8,982円
- 自治会館等維持管理費補助金 217万円
- 文化振興運営事業補助金 600万円

問 音楽のまちづくりの成果と特徴は。

答 教育委員会とエローラ運営委員会による主催事業、多世代交流学習館で実施した事業、共催事業、交流事業など全部で14事業を実施した。

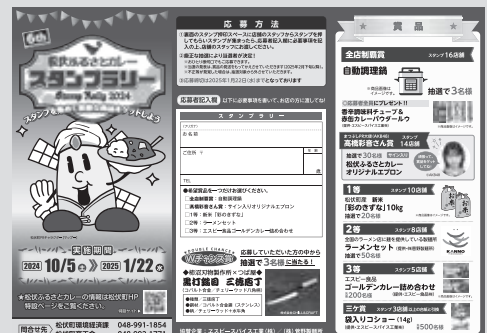


音響が素晴らしい エローラホール

4. 産業振興

- 古利根川桜並木保存会補助金 152万円
- 町民まつり実行委員会交付金 440万円
来場者数 27,000人
- 町商工会助成金 600万円

7回目のカレースタンプラリーの開催。町内外から327名、そのうち町外から前年を大きく上回る195名が参加した。高校生カレースタンプラリーを開催し、5校17チームが応募した。その他、リフォーム相談会等を実施した。



松伏ふるさとカレースタンプラリー
2024

5. 生活基盤整備

- 排水路整備工事費 1,366万3,100円
大川戸地区内の排水路整備
- 地域公共交通活性化協議会補助金 1,037万8,199円
- 立地適正化計画策定業務委託料 1,100万円

問 立地適正化計画策定業務は、2年間で2,090万円。成果を問う。

答 計画に掲げた保健センターの移転建て替えについて、国土交通省の補助金を活用している。人口減少、少子高齢化により都市機能の低下が懸念される中、引き続きコンパクト・プラス・ネットワークの考え方にに基づき、まちづくりを進める。

問 地域公共交通計画について、取り組む優先順位は。

答 令和7年度からの5年間で計画期間。計画期間の位置づけはあるが、詳細に優先順位はつけていない。



大川戸地区新々田集会所裏の
排水路整備

6. 生活環境・安全・安心・防災

- 樹木管理業務委託料 185万9,000円
- 家庭系ごみ収集運搬委託料 2,559万7,990円
- 資源回収団体奨励助成金 110万3,100円
- 枝草搬入奨励補助金 27万円
- 吉川松伏消防組合負担金(常備) 5億3,832万円
- 防火水槽撤去工事 984万5,000円
- 避難所開設研修業務委託料 126万5,000円

問 資源回収団体奨励助成金の単価改正による影響は。

答 以前は1kg当たり5円だった助成額を、1kg当たり15円とした。令和6年度の資源回収量は減少したが、助成金が増えたことで回収量の減少を一定程度抑制することが出来たと考えている。

問 防火水槽撤去工事の内容は。

答 松葉地内のコンクリート製で30立米を貯水する防火水槽を、土地所有者からの申出を受け撤去し、借地を原状回復する内容。



第二小学校・第二中学校で実施した
避難所開設訓練

問 公害対策事業について、苦情受付件数が33件、解決件数が21件。解決できなかった原因と苦情内容を問う。

答 騒音苦情7件中、未解決2件。工場からの騒音苦情に対し規制基準を遵守するよう指導した。悪臭苦情は、基準値内であったが、匿名の苦情のため継続している。

令和6年度決算について 議員から出された意見・課題

- 保育…保育所などで、土曜日の延長保育や日曜日、祭日の保育の対応がされていない。病後児保育が実施されていない。
- 高齢者のタクシー券等の助成事業…交通不便地域ほど申請が少ない。タクシー・バス券の枚数増。
- 日本人による英語指導助手…学校の英語教育の環境が変わってきた。活用方法の前向きな見直しが必要と考える。今後の検討課題にしてほしい。
- 各基金の運用…基金の一部を定期預金で運用しているものの、その成果が十分と言えない。積極的な活用を希望する。
- 広報まつぶし…町内事業者への配布を要望する。駅置きは北越谷駅、吉川駅、越谷レイクタウン駅、南越谷駅と、バス路線を意識した配置と考えられる。せんげん台駅にも配置するよう要望する。
- 動物死体処理事業…少しでも多くの動物たちが飼い主のもとに帰ることができるよう、マイクロチップの読み取り機を有している委託先を選定するよう要望する。
- がん患者ウィッグ購入費の助成…ウィッグ購入金額から考えると、一層の充実が必要。県の補助事業をベースにしているので、県への増額働きかけも要望する。
- 発達・情緒通級指導教室設置(にじいろ教室)…金杉小学校の児童、保護者には送迎をお願いしているので、教育偏在解消の上からも、必要に応じて設置に向けた努力を要望する。
- 出前講座…より多くの方の参加を可能とするためにも、オンラインの開催などの検討を求める。

【一般会計に対する討論】

賛成討論：自民クラブ

財政健全化を意識する一方、新たな収入確保やふるさと納税への取組など新たに掲げた施策を進め、創造と工夫の考えを持ち最少の経費で最大の効果が出るよう期待する。第6次総合振興計画の重点戦略の1つに、こどもや高齢者にやさしいまちづくりを掲げている。給食費2期分の無償化など課題に正面から向き合い取り組んでいることを評価する。

賛成討論：チェンジ松伏・無所属クラブ

町税も増加傾向であり、町の令和6年度の税収増への取組を大きく評価したい。今後も財政構造の健全化に向けて、一層の努力を期待する。住民の視点に立って、限られた財源を効果的、効率的に活用し、より多くの成果を収められるように、また、高野町長のリーダーシップを発揮して、真に町民のための施策を鋭意推進することを願う。

賛成討論：公明党

国・県の補助制度や交付金を活用した事業を積極的に取り入れたと評価する。令和6年度は、鈴木勝前町長の責任で執行した事業。おおむね町民のために有効に活用されたと評価する。町単独では進められない組合事業や東埼玉道路、地下鉄8号線、中川と江戸川を結ぶ新放水路など、連携が必要な事業の関係各所、各機関との一層の連携を要望する。

反対討論：日本共産党

令和6年度は、定額減税の影響分を差し引くと町税の個人町民税も、固定資産税も増額基調にある。町民から、町の人口が減少する中で、税収も減っているのではないかと財政状況が悪化しているのではないかと質問を受ける。また、細かな分野の様々な要望があるが、努力をすれば実施ができる課題と考える。

9月定例会の議案の採決		議員名													採決結果
件名		平野千穂(共)	吉田俊一(共)	鈴木勉(社)	村上真由美(公)	川上力(公)	松岡高志(自)	砂川清時(自)	高橋昭男(自)	長谷川真也(未)	増田秀雄(未)	福井和義(自)	佐藤永子(自)		
【町長提出】															
議案第57号	松伏町教育委員会委員の任命について	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議案第58号	松伏町公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議案第59号	松伏町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議案第60号	松伏町重度心身障がい者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第61号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第62号	松伏町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第63号	松伏町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第64号	松伏町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第65号	松伏町議会議員及び松伏町長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第66号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第67号	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第68号	令和7年度松伏町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第69号	令和7年度松伏町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第70号	令和7年度松伏町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第71号	令和7年度松伏町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第72号	令和7年度松伏町下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第73号	令和6年度松伏町一般会計歳入歳出決算の認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
議案第74号	令和6年度松伏町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
議案第75号	令和6年度松伏町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
議案第76号	令和6年度松伏町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
議案第77号	令和6年度松伏町下水道事業会計決算の認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
議案第78号	松伏町教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議案第79号	令和7年度松伏町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
【議員提出】															
発議第8号	松伏町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	可決	
発議第9号	気候変動の抑制と地球温暖化防止に向けて一層の対策推進を求める意見書	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	可決	
発議第10号	学校の業務量に見合った教職員の定数改善計画の策定および全国教員勤務実態調査を求める意見書	○	◎	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	否決	
発議第11号	生活保護基準引き下げ違法の最高裁判決を踏まえ速やかな対応を求める意見書	◎	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	否決	

(○＝賛成、●＝反対、退＝退席、欠＝欠席、◎＝提出者)

(会派名) 自＝自民クラブ、チ＝チェンジ松伏・無所属クラブ、未＝未来クラブ、公＝公明党、共＝日本共産党、社＝社会正義クラブ

令和7年9月定例会

9月1日から9月24日まで開催

主な議案

人事

- 松伏町教育委員会教育長の任命について

谷ヶ崎 均 (やがさき ひとし) 氏 **【新任】**

任期:令和7年10月1日から令和10年9月30日まで



- 松伏町教育委員会教育委員の任命について

會田 隆 (あいだ たかし) 氏 **【再任】**

任期:令和7年10月1日から令和11年9月30日まで

- 松伏町公平委員会委員の選任について

滝上 秀人 (たきうえ ひでと) 氏 **【再任】**

任期:令和7年10月1日から令和11年9月30日まで

- 松伏町農業委員会委員の任命について

山崎 良夫 (やまざき よしお) 氏 **【新任】**

任期:令和7年9月9日から令和10年4月6日まで

議案

- 松伏町重度心身障がい者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

■概要

重度心身障がい者医療費支給制度は、障がいのある人に、医療機関を受診した場合の医療費の一部を助成する制度。

現在の対象者である、身体障害者手帳1級から3級、療育手帳㊤、A、B、精神障害者保健福祉手帳1級をそれぞれ所持している人に加え、令和8年1月1日から、精神障害者保健福祉手帳2級を所持し自立支援医療給付を受給している人も対象とする。なお、特別の理由で精神障害者保健福祉手帳2級を所持していない人も対象となる。

助成額は、自己負担が1割だが、所得区分に応じて月額の上限が設けられており、それぞれの上限額2,500円、5,000円、1万円、2万円が助成額となる。

- 松伏町手数料条例の一部を改正する条例

住民基本台帳の一部の写しの閲覧に関する手数料額の改定

現 行	改 定 後
一冊につき、 <u>3,000円</u>	<u>1件につき 200円</u> (1人を1件とする。)

補正予算 令和7年9月定例会

令和7年9月定例会では、提出された4億8,114万6千円の一般会計補正予算を審議しました。可決され、令和7年度松伏町一般会計予算総額は114億2,016万2千円となりました。

9月議会の補正予算で決まったこと

総務費

12万8千円



備品購入

町PR会見用バックボードの新調。高さ2m25cm 横幅2m25cm、現状より横幅が1m50cm短くなる。

民生費

1,080万円



子育て応援給付

0歳から18歳の誕生日後、最初の3月31日を迎える児童、約3,600人に一人当たり3,000円支給される。

農林
水産業費

1,030万円



農業基盤整備工事

土地改良区や水利組合、農業者の希望により、魚沼地内の農業用水路、町内各地区8か所の農業用水の改修工事を実施。

土木費

685万4千円



道路修繕工事

自治会からの舗装修繕の要望により、金杉地区140mの舗装の打ち替え工事を行う。

土木費

137万円



公園管理委託

松伏総合公園の老朽化した桜の木。直営作業による剪定伐採樹木の処分委託料と専門業者の対応が必要な樹木剪定伐採にかかわる委託料。

消防費

495万円



防災行政無線システム改修

Jアラート、全国瞬時警報システムの更新に伴う改修。地域単位で細分化した情報配信に対応できる新型受信機による機能強化を図る。

教育費

103万5千円



体育館空調設置工事基本設計

町内小中学校5校それぞれの体育館で最も適した熱源や機種、断熱工事等の必要性を検討し、概算の工事費を算出する。

教育費

2,200万円



給食材料購入

物価高騰が収まらず、給食材料費に不足が生じていることから、補填するもの。

総務費

250万円



定額減税補足給付事業

令和6年度分定額減税の当初調整給付額との差額が生じた人に対して不足分の給付を行うもの。

意見書

※意見書の要旨等については、町議会ホームページに掲載しています。



気候変動の抑制と地球温暖化防止に向けて一層の対策推進を求める意見書

可決

- 一、気候変動を抑えていくためには地球温暖化防止が必要であり、省エネ・再生可能エネルギーの推進を含め、一層の対策推進を国の主導で行うこと。
- 一、地域脱炭素推進交付金の増額や、地方公共団体に対し活用に向けた一層の支援を行うこと。
- 一、地球温暖化の影響や対策について、教育を通じて意識醸成を図るとともに、メディアやSNSなども活用し啓発活動を行い、個人ができる具体的な行動を促進すること。

学校の業務量に見合った教職員の定数改善計画の策定および全国教員勤務実態調査を求める意見書

否決

生活保護基準引き下げ違法の最高裁判決を踏まえ速やかな対応を求める意見書

否決

委員会報告 見る・聞く・動く

松伏町開かれた議会特別委員会

松伏町開かれた議会特別委員会では、議会と住民が連携していくことを基本とした、開かれた議会を進め、議会の機能強化や議員のなり手不足解消等を図るための方策を検討しています。委員会は、次の2つの部会で構成しています。

【出前講座部会】

全国の町村議会では、議員のなり手不足が深刻化してきており、対応策の一つとして主権者教育の推進が注目されています。そこで、出前講座部会では、町内の各小中学校において小中学生向けに出前講座を開催し、主権者教育の推進を図ることとしています。

この度、松伏第二中学校から出前講座の開催希望があり、現在、議員と生徒との懇談を中心とした出前講座の開催に向け準備を進めています。

また、この松伏第二中学校での出前講座の内容については、次回の議会だよりで報告させていただきます。

【インターネット配信部会】

町民の皆様には議会をより一層知ってもらい、また、傍聴に来られない方も議会について確認することができるように、議会の様子についてインターネット配信を検討しています。

請願第1号 「手話言語条例」 制定について

令和7年6月4日「手話言語条例」の制定について、松伏町聴覚障害者協会代表の沢田正さんより請願が議会に提出されました。

6月19日に文教民生常任委員会で請願審査が開催され、紹介議員の村上真由美議員が趣旨説明をしました。その内容は「手話が音声言語と対等な言語であることを広く町民に広め、聞こえない人が手話を身につけ、手話で学び、自由に手話を使い、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とし、すべての町民が共に暮らすことのできる、地域社会の実現のため、「手話言語条例」を制定すること」としています。埼玉県では63市町村のうち54市町村が制定しており、86%であります。6月18日、国で「手話施策推進法」が成立し、町として条例の制定を目指すべきとの発言もありましたが、勉強会を開催して手話言語に対する理解を深めてから、慎重に判断することが望ましい、との意見があり、継続審査となりました。

7月25日、総務産業常任委員会との合同調査には一般社団法人 聴覚障害者協会 理事 岡野敏昭氏による研修会を開催しました。

第2回目の審査は8月5日に開催し、種々論議が交わされ、採決の結果は、賛成全員により「採択とすべきもの」と決定しました。



聴覚障害者協会理事による合同研修会





町政に関する

一般質問の主題

一般質問の会議録全文は
町のホームページから検索できます

村上 真由美

- 投票率向上の取組みについて
- ペットと安心して避難できるようにペット防災手帳の導入について
- 夏休み中の学童クラブの運営について
- 学校の暑さ対策について

川上 力

- 外国人との共生に向けた取組みについて
- 安定したごみ収集体制の確立と、ごみ出し困難世帯への支援の実現について
- 防災対策の推進について

増田 秀雄

- 障がい者災害時支援バンダナの作成について
- 稲作の対策について
- 夏場における避難所の環境整備について
- 松伏町平和都市宣言に関連した事業の展開について

砂川 清時

- 町の土地利用構想について
- 田島南交差点の安全対策について

松岡 高志

- 自治会への「町政等に関するアンケート調査」について
- 松伏町の空き家対策について

平野 千穂

- 就学援助制度の拡充を
- 内水氾濫被害の軽減対策を
- 田島南調整池広場の運営について
- 平和事業の推進を

吉田 俊一

- 福祉タクシー利用券助成の充実について
- 高校生などのバス通学・定期券購入への助成制度を
- 町北部の住宅地の道路・側溝の整備について

7人の議員が町政を問う



むらかみ まゆみ
村上 真由美
(公明党)

Q 投票支援カードの導入を

A 町選挙管理委員会で協議

問 投票率向上に向けて官民が協力していく事も必要だ。一般社団法人選挙割協会は、選挙の投票後の投票済証で加盟店で割引などのサービスが受けられる。町商工会を支援して選挙割の町内加盟店を増やす取組みは出来ないのか。

答 総務課長 選挙を通じた地域の活性化、投票率の向上を目指す観点から、町商工会や推奨特産品販売店、カレースタンプラリー登録店へ情報提供を行う。

問 様々な障害で選挙で投票が困難な方もいる。必要な支援や配慮してほしいことを事前に記入し、支援を受ける事で、安心して投票に行くことができる。町でも投票支援カード導入が出来ないのか。

答 総務課長 町選挙管理委員会において協議する。

問 町のホームページを見ると学童クラブは、夏休み中の預かりはしないとしている。夏休みだけの預かりが出来ないのか。

答 すこやか子育て課長 現在、令和8年度から令和12年度までの指定管理業務の公募を行っている。令和8年度以降は、定員に余裕があれば、夏休み期間中だけの利用も可能になると考える。

問 学校の体育館に冷房をつけることが命を守る意味で優先すべきだ。町長の考えを伺う。

答 町長 今回の9月定例会の補正予算に「体育館空調設置工事基本設計業務委託料」を計上した。



支援の必要な方が安心して投票しやすいように



かわかみ つとむ
川上 力
(公明党)

Q 災害時のTKB対策推進を

A 調査研究し災害協定締結を検討

問 外国人との共生に向けた取り組みについて。

答 企画財政課長 多文化共生社会を推進することを目的に、「まつぶし日本語ひろば」を引き続き開催するとともに、更に多くの外国人の方々に参加していただけるよう、今後、店舗へのポスターの掲示について拡大を検討する。

問 安定したごみ収集体制の確立と、ごみ出し困難世帯への支援実現について。

答 環境経済課長 松伏町環境事業協同組合へ業務を一括して委託することは、組合設立の大きな目的である「相互補完機能」が構築されることから、安定的なごみ処理を行うために必要と考えている。また、ごみの個別収集については先進自治体の取組を参考にしながら調査研究する。

問 防災対策の推進について。

答 総務課長 トイレカーやトイレトレーラーの導入は、活用している近隣市町の事例や民間事業者と

の災害協定の締結を踏まえ、引き続き調査研究する。また、キッチンカーによる食事の提供等については、避難所での温かい食事の提供に大変有効であり、事業者との災害協定締結を検討する。防災フェスティバルにおけるキッチンカー出店について今後検討する。



災害時のTKB(トイレ・キッチン・ベッド)の対策推進



ますだ ひでお
増田 秀雄
(未来クラブ)

Q 体育館の冷房機器の設置について

A 設置に向け設計業務委託料を計上

問 障がい者災害時支援バンダナの作成について。

答 町長 令和2年度に「障がい者災害時支援ビブス」を30枚作成し、10人に配布した経緯がある。

答 いきいき福祉課長 令和5年度以降は配布していない。このためバンダナではなく現在のビブスを町が作成している福祉ガイドへ掲載することで、窓口やホームページなどで周知を行い希望者に配布していく。

問 町内小・中学校5校の体育館及びB & G海洋センターの体育館冷房機器の設置計画について。

答 総務課長 指定避難所の町内小・中学校5校の体育館のエアコン設置に向け、今回の9月定例会の補正予算で、「体育館空調設置工事基本設計業務委託料」を計上した。

答 教育文化振興課長 B & G海洋センターは、B & G財団の補助金を活用し、エアコンの設置を検討

していく。

問 松伏町平和都市宣言に関連した事業の展開。

答 町長 平和都市を宣言している本町にとって、町民の皆様の平和への意識を高めることは重要なものであると認識している。議員からご紹介いただいた事例を含めて、当町として町民の皆様の平和への意識の醸成が図られる事業について、前向きに検討するよう、関係課に指示をする。



障がい者災害時支援ビブス



すながわ きよとき
砂川 清時
(自民クラブ)

Q 町の土地利用構想を問う

A 企業誘致を積極的に行う

問 ①土地利用検討エリア、②新市街地形成拠点エリアの開発構想を問う（図参照）。

答 新市街地整備課長

①土地利用検討エリア（図：ア、イ、ウ）

令和6年度に（イ）町南部の東埼玉道路沿いのエリアにて、地権者の皆様を対象にアンケート実施。令和7年度は（ウ）町南西部の浦和野田線付近の広域幹線道路沿線のエリアにて、アンケート調査を実施し、土地利用の可能性について検討する。

②新市街地形成拠点エリア

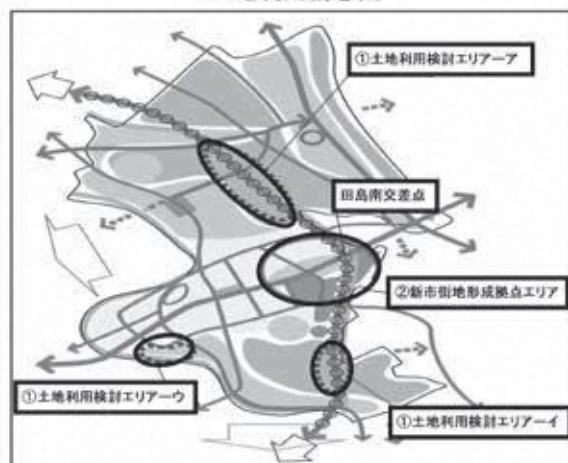
交通結節点として、新交通システムのBRTへの乗り換えが可能なバスターミナルの設置を検討する。

いずれも、土地利用構想については、開発の優先順位を設けておらず、地権者の皆様の合意が得られた箇所から開発を進めていく。

答 町長 町の土地利用構想については、各施策をき

め細やかに実施するためにも、企業誘致を積極的に行い、自主財源を確保すべきである。従って、職住近接のまちづくりを進め、人口減少に歯止めをかけ、町民が誇れる「選ばれる松伏」を目指していかなければならない。

土地利用構想図



まつおか たかし
松岡 高志
(チェンジ松伏無所属クラブ)

Q 町民の声をどう町政に反映する

A 直接、意見交換できる場をつくる

問 町長は、自治会へのアンケート調査の結果を受けて、町の現状をどう捉え、住み続けたい町、選ばれるまち松伏をどう目指していく考えか。

答 町長 当町を住み続けたい町、選ばれるまちにしていくためには、引き続き町内外に町の魅力を発信し、郷土愛の醸成を図りながら、転出を抑制しつつ、併せてトップセールスを推進することで、低い評価の分野を、行政だけではなく、民間事業者の協力を頂きながら施策を展開し、転入促進を図っていく必要があると考えている。

問 町長出前講座の開設で、町民の声をより町政に反映が図れると期待している。町長の考えを伺う。

答 町長 多くの町民の方の声を聞く場として、まつぶし出前講座に高野町長と語ろう！～オープンミーティング～を追加し、既に自治会や老人クラブの方々からお問合せを頂いており、現在、9月議会終了後の開催に向け、日程やテーマを調整し

ている。また、各種要望のある現場に直接出向き、町内の現状を確認することで、要望事項の優先順位等も判断していきたいと考えている。今後も、私が様々な場面で直接町民の皆様と意見交換をする場をつくり、また、町の考え方を直接お伝えすることで、町と町民による協働のまちづくりを進めてまいりたいと考えている。



松伏町「町政等に関するアンケート調査」結果報告書の表紙(松伏町ホームページより)



ひらの ちほ
平野 千穂
(日本共産党)

Q 浸水被害経験地域の被害軽減対策

A 緊急流域治水プロジェクトを実施

問 集中豪雨の発生頻度が増え内水はん濫の被害リスクが拡大している。長宮、田中、下赤岩等、過去に浸水被害があった地域の被害軽減対策は。

答 町長 令和5年6月の台風第2号の影響により甚大な浸水被害が発生したことから、国、埼玉県、当町を含む関係6市1町が連携し「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」を令和6年4月に策定した。浸水被害の要因が内水はん濫であったことを踏まえ、市町は排水機能や貯留機能の強化など内水はん濫対策。国・県は河川の掘削や堤防整備等の洪水はん濫対策を実施し、概ね5か年で浸水被害の大幅な軽減を目指す。当町では、災害対策用移動式ポンプ購入、排水路整備、内水ハザードマップ作成、浸水センサ設置、土のうステーションの整備等を進めてきた。

問 新規排水路整備や、改修の要望や必要性があるがまだ未着手のところはどの程度あるのか。

答 まちづくり整備課長 プロジェクトでの排水路整備は全て終了している。今後、排水路整備の必要性、雨水貯留施設について、しっかり検討する。

問 グリーンインフラを活用した取組、町の考えは。

答 まちづくり整備課長 田んぼダムによる雨水流出抑制や、公園や学校における雨水貯留の取組など様々な事例がある。治水対策におけるグリーンインフラの取組導入をしっかりと調査研究していく。



令和5年6月の大雨で内水氾濫となった長宮地区



よしだ しゅんいち
吉田 俊一
(日本共産党)

Q 町北部の住宅地の排水問題について

A 状況把握のための調査を実施したい

問 町北部の住宅地（みずくみ団地、柿の実団地）から側溝・排水対策の要望が長年寄せられている。地盤沈下により、側溝の勾配が取れていない。

答 まちづくり整備課長 住宅地の道路は、柿の実団地は開発時に町道に移管。水汲み団地は私道だったが、自治会関係者の努力で私道採納・町道への移管が進み残り1路線。今年度は町も協力して進めていく。道路側溝など排水は現地をよく調べることが必要。状況把握の調査を実施していきたい。

問 福祉タクシー利用券助成の充実を一。障がい者手帳をもつ高齢者（免許返納者）から、「定期的な春日部市の病院通院に片道2,500円以上かかる。助成額を増やしてほしい」という要望が寄せられている。松伏町は18枚（500円券）だが越谷市では48枚支給。増額が検討できないか。

答 町長 担当に確認したが、窓口で利用者から増額

要望は聞かれていない。利用者の声や他市町村の状況を調査研究するように指示した。

問 ガソリン券の助成（選択制）は、「町単独補助事業の全廃」で平成17年に廃止に。他自治体は継続していること、障がい者のご家族からも強い希望があることから、助成復活を検討できないか。

答 町長 他自治体の事例は参考になる。移動に困難を抱える方の支援の選択肢の多様化、個別ニーズの対応を担当課と考えていく。

福祉タクシー利用券助成の状況 五市一町

	松伏町	越谷市	草加市	三郷市	八潮市	吉川市
タクシー利用券	18枚	48枚	38枚	35枚	28枚	36枚
ガソリン燃料券	×	○	○	○	○	○

議会だより 写真募集!

カメラの種類（一眼レフ、コンパクトカメラ、スマートフォン等）は問いません！
お気軽にご応募ください！

募集内容

松伏町内で撮影された写真（行事、風景、人物など）
※撮影内容により、被写体または所有者の承諾が必要

応募資格

松伏町内に在住・在勤または在学の方

応募要件

- ・JPEG形式・カラー・高画質デジタルデータ（1MB～9MB程度）で、解像度350dpi以上のもの
- ・町内において概ね3年以内に撮影したもの
- ・応募者本人が著作権を有し、未発表・未加工のもの

応募方法

議会事務局に持参、郵送またはメール(gikai@town.matsubushi.lg.jp)
※応募に係る詳細は、町ホームページでご確認ください。



傍聴・感想ありがとうございました

傍聴者の声
(抜粋です)

- 町議会の様子が良く理解でき町民とのつながりを感じます。議会だよりも内容が詳細にわかり、楽しみに拝読しています。
- 町長の「出前講座」は有効だと思います。期待します。
- 決算審査を傍聴し、議員の皆さんの活発な質問に執行部の丁寧な説明があり大いに納得しました。
- ご近所さん体操教室の認知症サポーター養成講座の開催などPR不足である。新規開催を広報誌に掲載して周知すること。

9月定例会・傍聴者数

9月1日	5名	9月16日	1名
9月3日	11名	9月17日	2名
9月4日	9名	9月19日	1名
9月9日	5名	9月24日	4名
9月11日	5名		

合計 43名

令和7年12月定例会の日程(予定)

令和7年12月5日(金)～
12月15日(月)
詳細は議会運営委員会で決定後、お知らせします。

編集後記

暑い夏がやっと収まり虫が鳴く頃となりました。
実りの秋、食欲の秋、読書の秋、どんな秋をお楽しみでしょうか。

今回の議会だよりは、2ページ増やしております。広報委員会では、町民の皆さまに議案審議や決算審議の内容をわかりやすく、読みやすい紙面に出来るよう努めました。また、写真の公募も行っております。

町民の皆さまに議会を身近に感じていただけるようより良い議会だよりを作成していきたいと思っております。

村上 真由美

議長 田口 義博
議会広報発行特別委員会
委員長 砂川 清時
副委員長 平野 千穂
委員 佐藤 永子
委員 高橋 昭男
委員 松岡 高志
委員 増田 秀雄
委員 村上 真由美